

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとんぼく田宮校		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 17日		～ 2024年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2024年 6月 7日		～ 2024年 6月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 7月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との信頼関係が強く、丁寧な情報共有と相談体制が確立されている点。	活動プログラムの固定化を防ぐため、季節行事や子どもたちの興味に応じた柔軟な活動設計を行っている。	家族支援プログラムやペアレントトレーニングの導入・拡充により、保護者の支援力向上を図る。
2	職員間の連携が密で、日々の支援を振り返る文化が根づいており、支援の質が安定している。	ヒヤリハット事例の共有やBCP訓練を定期的に行い、安全への意識向上を図っている。	地域の児童館や他の療育機関との交流機会を増やし、子ども同士の社会的経験を広げる。
3	支援計画に基づいた一貫性のある対応がなされており、個別支援と集団支援のバランスが取れている。	支援記録のデジタル化を進め、チーム全体で支援内容をリアルタイムに共有できる体制を整えている。	学校や他機関との連携強化により、支援の継続性と一貫性を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携や移行支援に関する活動がやや限定的であり、外部との関係構築が今後の課題とされる。	地域資源や関連機関とのつながりに関する職員の情報量や経験が不足している。	地域連携や外部支援機関とのネットワークづくりを推進するため、定期的な情報収集と関係機関との面談・見学等の機会を設ける。
2	情報発信(HPや通信など)の頻度や方法については、保護者から「もっと知りたい」との意見も見られた。	保護者間交流や情報共有の場の運営には、準備・運営の時間と人的リソースが必要であり、負担感が課題となっている。	通信やホームページ等での情報発信を強化し、保護者が事業所の取り組みを把握しやすい環境を整える。
3	「保護者会」などの保護者同士の交流機会が限られており、横のつながりづくりに課題が残る。	情報発信に関して、SNSやHPの活用が限定的であるなど、広報手段の多様化が図られていない。	保護者会や小規模な意見交換会など、交流の場を段階的に設けることで、保護者同士のつながりを支援する。